

ホタテガイ養殖管理情報

**稚貝分散が遅れるとへい死率や異常貝率が高くなります
新貝の体力を回復させるためにも稚貝分散作業を優先しましょう**

1 海況

10月10日時点の陸奥湾の中層(10~15m層)の日平均水温は21℃を上回っており、10月に入ってからの水温低下は遅い状況です(図1)。詳しくは、陸奥湾海況情報や海ナビ@あおもり(下記URL、QRコード)をご覧ください。

海況自動観測ブイの15m層の半旬別平均水温の推移は図2のとおりで、最高水温は高水温年だった2010年や2023年より低かったですが、水温低下が遅く20℃以上の高水温期間は2023年並みに長期化しています。

2 稚貝分散作業時の注意点

- 現在の水温は、**稚貝が成長を再開する23℃より低い状況**になっています。
- 今年は高水温期間がかなり長く、**稚貝は疲弊した状態**であると考えられます。**貝の体力回復の目安となる「フチがまわっている」ことを確かめてから作業**しましょう。
- 1段当りの**収容枚数が多いと成長悪化やへい死につながる**ので、養殖方法に応じた**適正な収容枚数(1段当り10~20枚)**を心がけて作業してください。
- **稚貝は乾燥にも弱い**ので、手早く作業を行いましょう。
- 流れによるぶつかり合いで、外套膜(ヒモ)が傷ついてへい死しないように、**ネットにはオモリをつけましょう**。また、流れが速い場合は、作業を控えましょう。
- 作業終了後は波浪によるぶつかり合いを防ぐために、**施設を浮かせずぎない**ようにしましょう。
- **稚貝分散が遅れるとへい死率や異常貝率が高くなる**ことが、分かっています。そのため、フチがまわり稚貝分散を開始できる施設から順に効率よく作業を行い、できる限り早めに終わらせるようにしましょう。

3 新貝の作業の注意点

現在の水温は、**新貝の作業開始の目安となる20℃を上回っています**。水温が低下しても新貝の体力はすぐには回復していないと考えられ、そのような状況で**新貝の作業(玉付け・籠替え・掃除)を行うと、へい死率や異常貝率が高まる可能性**があります。そのため、水温が20℃になってもすぐには作業を行わず、**回復させる期間を設けてから作業を開始**してください。

新貝の体力回復を待ちつつ、稚貝分散を早くに終わらせるためにも、稚貝分散を優先して作業しましょう。

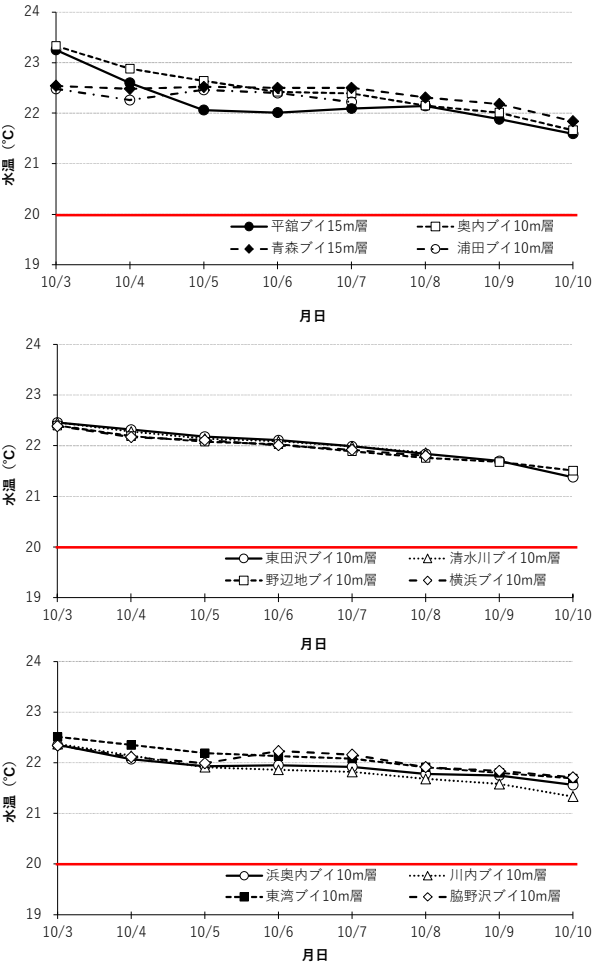


図1 海況自動観測ブイ(15m層)と水温観測ブイ(10m層)での日平均水温の変化

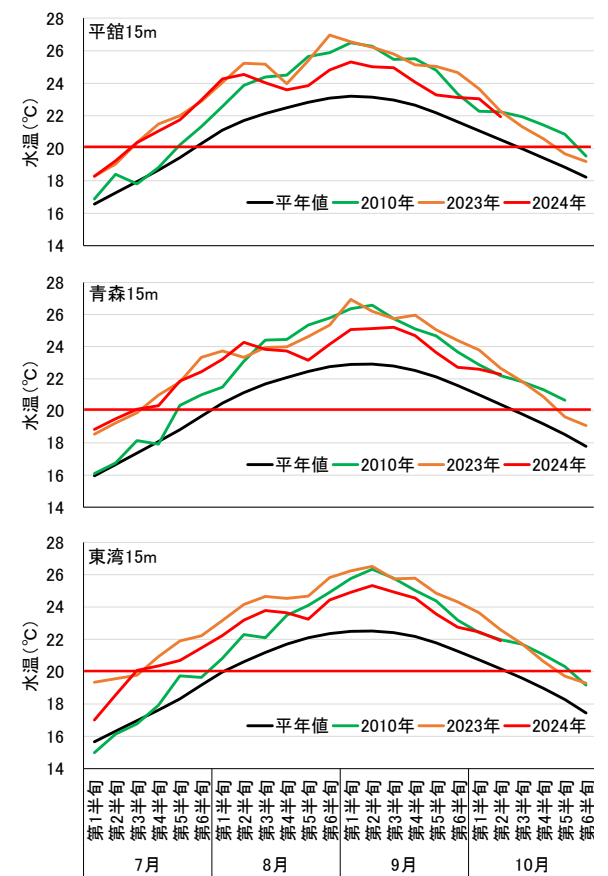


図2 海況自動観測ブイでの15m層の半旬別平均水温の推移 ※暫定値を含む

